

# 早川平会計事務所通信

3月号 VOL. 208

## 税理士法人早川・平会計

〒101-0048

東京都千代田区神田司町2-10 安和司町ビル2階

電話：03-3254-2171 FAX：03-3254-2174

URL：[www.ht-tax.com](http://www.ht-tax.com)

Mail：[y.taira@ht-tax.com](mailto:y.taira@ht-tax.com)

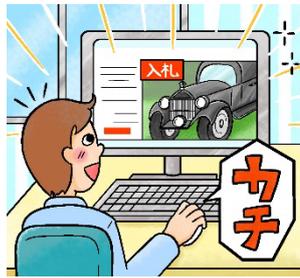


桜の季節を前にした日本列島は静かな雨に包まれます。関東以西では、菜の花が咲く頃の雨を「菜種梅雨（なたねつゆ）」と呼び、空は幾日も灰色に染まります。別名は「催花雨（さいかう）」。菜の花をはじめ、さまざまな花を咲かせる雨という意味です。この時期の雨は、春の花々を目覚めさせる命の水というわけですね。

## 知っどこ! 「税」の マメ知識

### 今月のマメ知識：【インターネット公売について】

インターネット公売とは、税金の滞納者から差し押さえた財産を、国税庁や地方自治体がインターネット上で入札販売する制度です。従来の会場での公売に比べ、時間や場所の制約がなく、全国どこからでも入札に参加



できる利点があります。主に「K S I 官公庁オークション」というプラットフォームが利用されています。出品される物件は不動産、自動車、貴金属、骨董（こつとう）品、電化製品など多岐にわたります。入札に参加するには、事前に参加の申し込みを行います。個人の場合はマイナンバーカードなどの本人確認書類が必要です。落札代金は即日または指定期日までに納付する必要がある、支払い完了後に物件の引き渡しが行われます。なお公売は税金の徴収を目的としているため、物件は原則として現状

のままで売却され、返品や交換はできません。このシステムにより税の徴収効率が向上し、また一般市民にとっても、さまざまな物件をお得に購入できるといわれています。一度ご覧になってみてはいかがでしょうか。

## 世界の偉人伝

### 今月の偉人：【シュバイツァー】

アルベルト・シュバイツァーは、ノーベル平和賞を受賞した医師、神学者です。アルザスの裕福な家庭に生まれ、ストラスブール大学では神学、哲学を専攻しながら「30歳からは世のために尽くす」と決意し医師を目指します。学位取得後はアフリカのガボンに渡り医療活動を開始、資金援助のためのパイプオルガンの演奏活動も精力的に行いながら、生涯を当地の住民の医療活動に捧げました。「人のために生きる時、より豊かで幸せにもなれる」と平和賞に値する人生観を残していま

## 気軽に Let's 英会話

### 今月のキーワード：【commence】

「卒業式」を“graduation”というのは聞いたことがあると思いますが“commencement”という呼び方もあります。こちらは「開始・始まり」の意味があり、人生の「始まり」という意味から来ているようです。その動詞形“commence”は「(～を) 開始する・始める」という意味です。“This License Agreement shall commence upon the payment.”「このライセンス契約は支払いと同時に開始されます」「Let the party commence!」「パーティーを始めましょう！」などと使います。

# 今月のあなたの運勢

鑑定: 妙慎

## A型

交際運が活発な今月は、公私共に楽しんで心身をリフレッシュさせると充実した時間を過ごせそうです。

## B型

やる気が出にくい運勢。しかし良い人脈や援助者に恵まれる運勢でもあるため常に感謝の心を忘れずに。

## O型

前進できる運勢。変化を敏感にキャッチして対応すれば万事吉となります。内面重視でさらに吉運UP!

## AB型

周囲から注目されるでしょう。自信過剰にならないよう言動を慎むと大吉! 何事も信用第一と心得て。

# ユウタとコハル

画: ゴハチ



## 振り向けばあそこにも「商売のヒント」

### 今月の商売のヒント: 【植物に学ぶ人生の知恵】

植物の生育過程には、私たちの人生に通じる深い知恵が隠されています。例えば麦は若芽の時期に踏まれることで、かえって力強く成長します。乾燥地帯の木々は、水を求めて太い根を地中深くまで伸ばし、その結果として強風にも耐えうる強靱(きょうじん)さを獲得します。またトマトは必要最小限の水で育てたほうが、より凝縮された味わい深い実をつけることがよく知られています。これらの自然の摂理は、私たちの人生における困難や試練の意味を考えさせてくれます。快適な環境で育った植物は、表面的には順調に見えても、実は浅い根しか持たず、わずかな風雨で倒れてしまいかねません。同様に人生における日々の苦労や困難は、私たちの内面に深い根を張らせる機会となります。苦境に直面したとき、それを単なるつらさとして避けるのか。それとも自己を強化する機会と捉え直すのか。それは新たな商売への挑戦かもしれないし、人間関係のいざこざ、あるいは健康上の問題かもしれません。いずれにしても困難だと感じるのは、まだその経験が不足しているからともいえるでしょう。誰もが何らかの苦労を抱えています。表面的には順風満帆



に見える人の人生も、実は見えないところで深い根を張る努力を重ねているかもしれません。逆境こそが私たちが成長させる肥沃(ひよく)な土壌となり、つらい状況は自己を強化できるありがたい出来事となる。そう解釈できたら、日々の困難は、より大きな試練に備えるための準備期間となるに違いありません。何事も忍耐強く取り組めば、やがてその苦労は糧となり、想像以上の強さを身につけることができると信じて進みたいものです。

# トナりの本棚

## 【新NISA完全攻略】

「ライオン兄さん」としてSNSで人気の山口貴大の新NISA入門書。分かりやすいと支持を受け、投資未経験者だけでなく経験者にも定評のある一冊です。



欧米では間もなくイスター。赤茶色の伝統的なイスターエッグは玉ネギの外皮の煮汁で卵をゆでて作ります。卵の殻にハーブなどの葉を貼り、葉がずれないように卵をストッキングに入れて端を結んでゆでると、模様入りのイスターエッグの完成です。

